

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|----------------------------|--|------------------|--|-----|--------|---------|
| 330141030 | 専門演習C Expert Exercise C | 小倉弘之・松井素子 | | | 1 | 必修 | 4前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成するために、これまでの自らの経験や特性を振り返り、コミュニケーションに着目することで、こどもの日常の遊びや学び、そしてこどもの成長に対する認識と現実の保育及び教育現場での課題に対する見識を深めるとともに、自立した社会人として学生自身が自らの将来を見据えながら社会へ適応するための力を磨く（DP3・5）。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 自らの特性を理解し、自主的に考え、行動する能力をさらに高める。 ② 他者との交流を一層深め、自らの広く深い見方につなげる。 ③ ことば・コミュニケーションなどの点から保育・教育に必要な知識や考え方を身に付ける。 | | | | ① 自らの特性を理解し、自らの価値観を持ち、一步進んだ挑戦を行うことができる。 ② 他者との積極的な交流を通して、自らの保育・教育への見方を深めることができる。 ③ ことば・コミュニケーションなどの点から保育・教育に必要な知識や考え方を身に付け、自らの認識を表現できる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 課題をするのに必要な知識について、様々な資料・文献を使って自己学修をすることができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | 他の学生と協働しながら積極的に学修に取り組み、より良い結果を出すことを目指している。 | | | | | |
| | 実行力 | 困難があっても目標を変更せず到達することができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 | | | | | |
| | 計画力 | 定められた学修予定の中で、より効率的・効果的なものになるよう計画し推進することができる。 | | | | | |
| | 創造力 | 事象に対して固定概念に捉われることなく、多面的・多角的に考察することができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 整理した内容を、的確なことばや文章、方法を用いて表現できる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 課題解決に向けて他者の意見を確認し、真摯な態度で対応、考察することができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | 課題解決に向け、その時の状況を踏まえ、より効率的・効果的な方法を選択・実践することができる。 | | | | | |
| | 情況把握力 | 課題解決に向け、客観的に自らの状況を把握・判断することができる。 | | | | | |
| | 規律性 | 課題解決に向け、学修が円滑に進行するよう集団のルールを守ることができる。また、提出物を期限内に提出することができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | 課題解決に向けての困難な状況に際し、他者からの助言を得たり自ら考え、困難な状況を自ら乗り越えて学修を進めることができる。 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 教科書：特になし（適宜、資料を配付する） | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：「専門演習C」は専門科目のコア科目に配置されており、「専門演習A」「専門演習B」で獲得した知識・技術を活用する。 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| ・日頃から新聞やテレビ等でテーマに関する情報に関心を持ち、収集するよう心がける。 ・課題に応じた自分なりの考えをまとめるとともに、他者にも適切に自身の考えを伝えることができるよう努力する。 | | | | ・授業で配布する資料はいつも保管しているわけではないので、出席者からもらうようにする。 ・授業に参加していない（私語、居眠り等）と認められた者に対しては欠席扱いとする。 ・授業者が使用を認めた場合以外のスマホの使用を禁止する。 ・遅刻は授業開始後20分以内とし、かつその授業後直ちに自己申告があったもののみとする。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | | | | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|--|---|--|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | | | | | |
| | | | | ② | | | | | | | | |
| | | | | ③ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | | | | | | |
| | | | | | ② | | | | | | | |
| | | | | | ③ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | レポート | | 60 | ① | ✓ | | | | | 知識の獲得（自己理解、ことばとコミュニケーション）：20% 知識の活用（ことばとコミュニケーション、保育士・教師の役割）：40% 課題の解決（保育士・教師としてのコミュニケーションの取り方）：40% | |
| | | | | | ② | ✓ | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 30 | ① | ✓ | | | | | 知識の活用（自らの保育職・教員としての強みについての客観的分析、日常の保育・教育的課題への判断）：40% 課題の解決（自らの保育職・教員としての強みについての表現、日常の保育・教育的課題への対応表現）：60% | | | |
| | | | ② | ✓ | | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | ✓ | | | | （主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 （傾聴力）他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。 | | | |
| | | | | ② | ✓ | | | | | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| <p>・課題に対して他者と協働し積極的かつ柔軟に取り組み、自分の意見を他者に分かりやすく伝えられることができたものをA(優)とする。上記に加え、レポート等の内容が際立って優れていた者をS(秀)評価とする。</p> | <p>B：自分の意見を表現したり他者とのグループディスカッションに参加することができる。また、資料をまとめ、レポートを作成することができる。</p> <p>C：自分の意見を表現したり他者とのグループディスカッションに参加することに一部困難がみられたり意欲の乏しさがみられる。また、レポート作成において、資料の扱いや論理の展開に不十分さがみられる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|------------------------------|--|--|-------|--|
| 1 | オリエンテーション (小倉) 本科目で到達を目指す 目標・内容・社会人基 礎力などについて理解 する。 | 講義 グループワーク | 本科目を通して培う資 質・能力を踏まえ、本 科目履修に当たっての 明確な目標を立てるこ とができる。 | (予習) 指定された資 料を読んでおく。 (復習) 本科目を履修 していく上での目標な どを明確にする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 自己理解(松井) 自己分析を改めて行 い、自らの強みの理 解、その活用の仕方な どについて考察する。 | 演習 グループディスカッ ション | 自らを客観的に分析 し、よさやその生かし 方を表現することがで きる。 | (予習) 提示された質 問に回答する。 (復習) 本時での学修 を踏まえ、自らの強み について考察し、文章 としてまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 自己PR(松井) 前時の「自己の強み」 についての有効なア ピールの方法について 考察する。 | 演習 グループディスカッ ション | 自己の強みを効果的に アピールできる自己PR ができる。 | (予習) 自己PRの準備 を行う。 (復習) 自身及び他者 が行った自己PRを振り 返し、より効果的な自 己PRに改善する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 場面指導①(松井) 保育・教育現場の様々 想定される場面や状況 での対応の仕方につ いて考察する。 | 講義 グループディスカッ ション | 保育・教育現場での 様々想定される場面 での自らの対応の仕方 を表現することができ る。 | (予習) 提示された場 面・状況での自らの対 応の仕方について考え る。 (復習) 自身及び他者 の発表を再度考察し、 よりよい対応に改善す る。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 5 | 場面指導②(松井) 保育・教育現場の様々 想定される場面や状況 での対応の仕方につ いて考察する。 | 講義 グループディスカッ ション | 保育・教育現場での 様々想定される場面 での自らの対応の仕方 を表現することができ る。 | (予習) 提示された場 面・状況での自らの対 応の仕方について考え る。 (復習) 自身及び他者 の発表を再度考察し、 よりよい対応に改善す る。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 教育・保育のキーワ ードから考える(松井) 教育・保育の今日的な 課題について協議し、 それらへの認識を深め る。 | 講義 グループディスカッ ション | 教育・保育の今日的な 課題について自らの認 識を表現できる。 | (予習) 提示された課 題について内容等調べ る。 (復習) 授業を振り返 り、課題についての自 らの認識をまとめる (提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 面接試験に臨む(松 井) 模擬面接を行い、保 育・教育職としての自 らをアピールする方法 について検討する。 | 講義 グループディスカッ ション 発表 | 自他の面接について考 察し、改善策を考え改 善することができる。 | (予習) 面接課題につ いて回答内容を準備す る。 (復習) 自他の面接に ついて振り返り、改善 し録画し提出する。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力 |
| 8 | ことば・コミュニケー ションの役割(小倉) 保育・教育におけるコ ミュニケーションにつ いて考える。 | 講義・演習 グループディスカッ ション | 保育・教育におけるこ とばやコミュニケー ションの意義や役割に ついて、自分なりの考 えをもつことができ る。 | (予習) 提示された資 料を読んでおく。 (復習) 授業のポイント をまとめ、考察を記 述する(提出)。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|--|--|---|-------|---|
| 9 | ことばの習得と思考力(小倉) 子どものことばの習得、ことばと思考力の関係について考える。 | 講義・演習 グループディスカッション | 子どものことばの習得、ことばと思考力の関係について説明できる。 | (予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 幼児期のことばの発達(小倉) 幼児期にことばの力をつける方法について考える。 | 講義・演習 グループディスカッション | 幼児期にことばの力をつける方法について説明できる。 | (予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 8~10時間の授業について振り返り、レポートにまとめる(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 学びを深めるコミュニケーション(小倉) 学びを深めるコミュニケーションについて考える。 | 講義・演習 グループディスカッション | 学びを深めるコミュニケーションのあり方について説明できる。 | (予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 学びを深めるコミュニケーションについて考える。小倉 | 講義・演習 前時のレポートに対するフィードバック グループワーク ディスカッション | 学びを深めるコミュニケーションのあり方について説明できる。 | (予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | ことばとからだ(小倉) ことばとからだのかかわりについて考える。 | 講義・演習 グループディスカッション | ことばとからだのかかわりについて説明できる。 | (予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 確かな対話のために(小倉) 確かな対話を生むための保育士や教師のかかわりについて考える。 | 講義・演習 グループディスカッション | 確かな対話を生むための保育士や教師のかかわりについて説明できる。 | (予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 11~14時間の授業について振り返り、レポートにまとめる(提出)。 | 180 | 主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 |
| 15 | 【オンデマンド】 まとめと後期に向けて(松井) | 講義 | 本演習の学修を振り返り、特に保育・教育の現場での自らの歩み方について説明できる。 | (予習) これまでの資料やノートをふり返る。 (復習) テーマについてレポートにまとめる(提出)。 | 180 | 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|----------------------------|-----------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 330142031 | 専門演習D Expert Exercise D | 小倉弘之・松井素子 | | 専門 | 1 | 必修 | 4後期 |

科目の概要

人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成するために、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育及び教育現場での課題に対する見識をより深めるとともに、自立した社会人として学生自身が自らの将来を見据えながら社会へ適応するための力を磨く（DP3・5）。

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|--|
| ① 専攻の「学び」で培った知識の応用を目指す。 ② 自主的に考え、行動する能力をさらに高める。 ③ 保育・教育の実践について考察し、自らのキャリア形成を考える。 | ① これまでの振り返りと、今後の活動に必要な学びの姿を獲得し、実践することができる。 ② 自主的な考えを深め、自らの価値観を持ち、一步進んだ挑戦を行うことができる。 ③ 保育・教育の実践について考察し、自らのキャリア形成につなげることができる。 |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

| | | |
|---------|-------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 課題をするのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。 |
| | 働きかけ力 | 他の学生とともにグループで協力して活動の様子をまとめることができる。 |
| | 実行力 | 困難があっても目標を変更せず到達することができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。 |
| | 計画力 | グループや個人の活動発表に向けて、計画的に物事を進めることができる。 |
| | 創造力 | 固定観念に捉われないこと、多角的に物事を考察することができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。 |
| | 傾聴力 | 他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。 |
| | 柔軟性 | 活動の条件に応じて計画を調整したり、他の学生の意見を取り込んだりして、自身の考えをまとめることができる。 |
| | 状況把握力 | 他者の意見を考慮し、活動設定することができる。 |
| | 規律性 | 自分の価値観で判断せずに、集団のルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。 |
| | ストレスコントロール力 | 分からないことがあればその場で教員に質問したり、他者に相談したりすることができる。 |

テキスト及び参考文献

使用しない。適宜、資料を配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「専門演習D」は専門科目のコア科目に配置されており、「専門演習C」で獲得した知識・技術を活用する。

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|---|--|
| 今後、教育者となるために自分にとって足りないこと、強化すべきことは何かを常に考えながら受講し、発見した課題をメモしておいてください。まとめのレポートの課題となります。 | ・授業で配布する資料はいつも保管しているわけではないので、出席者からもらうようにする。 ・遅刻は授業開始後20分以内とし、かつ、その授業後直ちに自己申告があったもののみとする。 ・授業や活動に参加していないと判断（私語、居眠り等）された者は欠席扱いとする。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | | | |
| | | レポート | | 70 | ① | ✓ | |
| | | | | | ② | ✓ | |
| ③ | | | | | ✓ | | |
| | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 20 | ① | ✓ | | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | ③ | | | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|--|
| <p>A：授業中の活動、発言が積極的で極めて良好であり、レポート課題でも優れた内容となっている(80%)。レポートで良好な(90%以上)成果を上げられる。受講態度がよく、減点項目がない。</p> | <p>B：授業中の活動、発言が良好である。レポートで良好な成果(70%以上)を上げられる。 C：授業中の活動に他者と協働して取り組んでおり、レポート等でも一定以上の学修成果が認められる(60%以上)。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|------------------------|---|---|-------|--|
| 1 | オリエンテーション (松井) 本演習の目標、内容、 社会人基礎力の項目な どについて理解し、学 修への見通しをもつ。 | 講義 グループディスカッ ション | 現在及び将来の我が国 が抱える状況や課題を 踏まえ、より良い教 育・保育の姿やそのた めの条件等について自 分なりに説明できる。 | (予習) シラバスを熟 読してくる。 (復習) 講義の内容を 振り返り、レポートに まとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力 |
| 2 | 卒業研究中間発表会① (松井) 各自の卒業研究のテー マや目的、これまでの 進捗状況等について発 表・検討する。 | プレゼンテーション 協議 | それぞれの卒業研究の これまでの進捗状況に ついて発表し、今後の 見通しをもつことがで きる。 | (予習) 卒業研究の中 間発表のパワーポイン ト作成。 (復習) 発表・協議を 踏まえ、今後の見通し を構想する(提出)。 | 180 | 主体性 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコ ント ロール力 |
| 3 | 卒業研究中間発表会② (松井) 各自の卒業研究のテー マや目的、これまでの 進捗状況等について発 表・検討する。 | プレゼンテーション 協議 | それぞれの卒業研究の これまでの進捗状況に ついて発表し、今後の 見通しをもつことがで きる。 | (予習) 卒業研究の中 間発表のパワーポイン ト作成。 (復習) 発表・協議を 踏まえ、今後の見通し を構想する(提出)。 | 180 | 主体性 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコ ント ロール力 |
| 4 | 卒業研究中間発表会③ (松井) 各自の卒業研究のテー マや目的、これまでの 進捗状況等について発 表・検討する。 | プレゼンテーション 協議 | それぞれの卒業研究の これまでの進捗状況に ついて発表し、今後の 見通しをもつことがで きる。 | (予習) 卒業研究の中 間発表のパワーポイン ト作成。 (復習) 発表・協議を 踏まえ、今後の見通し を構想する(提出)。 | 180 | 主体性 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコ ント ロール力 |
| 5 | 子どもが伸びる教室の 条件～教師の役割と話 し方・聴き方～①(小 倉) 子どもが伸びる教室の 条件について教師の役 割と話し方・聴き方の 点から考察する。 | 演習 ディスカッション | 子どもが伸びるための 教室の条件としての教 師の在り方・対応の仕 方について説明でき る。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 講義の内容を 振り返り、考察をまと める(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 子どもが伸びる教室の 条件～教師の役割と話 し方・聴き方～②(小 倉) 子どもが伸びる教室の 条件について教師の役 割と話し方・聴き方の 点から考察する | 演習 ディスカッション | 子どもが伸びるための 教室の条件としての教 師の在り方・対応の仕 方について説明でき る。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 講義の内容を 振り返り、考察をまと める(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 子どもが伸びる教室～ 子ども同士の関係(小 倉) 子どもが伸びる教室の 条件について子ども同 士の関係性から検討す る。 | 演習 ディスカッション | 子どもが伸びるための 教室の条件として、子 ども同士の関係性をど う作っていけばよいか 説明できる。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の演習の 内容を振り返り、考察 する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 特色ある保育実践(小 倉) 保育の現場で活躍して いる外部講師からのレ クチャーを基に保育・ 教育の在り方について 考える。 | 講義・演習 ディスカッション | 子どものもつ可能性や それを引き出す保育の 在り方について説明で きる。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 外部講師の保 育実践から学んだこと をまとめレポート作成 を行う(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|------------------------|---|---|-------|--|
| 9 | 実際の授業から学ぶ (小倉) 小学校1年生の授業 VTRを視聴し授業分析 する。 | 演習 グループディスカッ ション | 視聴した授業のよさや 特徴について述べるこ とができる。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 授業VTRを 視聴、グループでの協 議等を通しての考察を まとめる(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 保育・教育現場の光と 影(小倉) 保育や教育の現場に起 こっている問題事例等 について考察する。 | 演習 グループディスカッ ション | 保育・教育現場での問 題事例の中から1事例 を選び、それについて 考察することができる。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 自分で選んだ 1事例について対応の 仕方についてレポート を作成する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 教育者として成長して いくためには(小倉) | 演習 グループディスカッ ション | 本演習のこれまでの内 容も踏まえ、より良い 保育士・教師になって いくための心構えと具 体策を説明できる。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の内容を 振り返り、考察しレ ポートにまとめる(提 出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 自らのキャリアを描く (松井) 様々なキャリアの事例 から、今後の自らの キャリア形成について 考察する。 | 演習 グループディスカッ ション | 先人のキャリアを参考 にして、生きがいのあ るキャリアを描くこと ができる。 | (予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の学修を 通じての考察をまとめ ることができる(提 出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | キャリア計画発表① (松井) 自分自身のキャリア・ ライフステージについ て発表する。 | プレゼンテーション | 今後の自らのキャリア のライフプランについ て発表することができる。 | (予習) 自らのキャリ ア・ライフプランのパ ワーポイントスライドを 作成する。 (復習) これまでの学修 や他者からの意見も含 め、自らのキャリア計画 を見直し、レポートにま とめる(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | キャリア計画発表② (松井) 自分自身のキャリア・ ライフステージについ て発表する。 | プレゼンテーション | 今後の自らのキャリア のライフプランについ て発表することができる。 | (予習) 自らのキャリ ア・ライフプランのパ ワーポイントスライドを 作成する。 (復習) これまでの学修 や他者からの意見も含 め、自らのキャリア計画 を見直し、レポートにま とめる(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | 【オンデマンド】 本科目のまとめと振り 返り(小倉) | 講義 | 講義で学んだことを踏 まえて、自身の考えを 発信することができる。 | (予習) 資料を熟読し ておく。 (復習) 講義を視聴し ての考察をまとめる (提出)。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力